

ヲ不合格トス。

第十六條 鑄鐵品ニハ検査前塗裝其ノ他表面ノ検査ニ妨ゲ在ル處理ヲ施スコトヲ得ズ

第十七條 本規格ニ合格シタル鑄鐵品ニハ種別、製造所名及検査済ノ證印ヲ刻シ且其ノ周圍ニ塗料ヲ施シ識別ニ容易ナラシムルモノトス、但シ刻印ヲ施シ難キモノニ在リテハ適當ノ方法ニヨリ種別、製造所名及検査済ヲ表示スルモノトス。

鑄鐵品用途

第一種	第二種	第三種	第四種
第二種、第三種、第四種以外ノ用途	一、内火機械用臺板及架構 二、蒸汽「タルピン」及氣筒類 三、其他指定セラレタル用途	一、内火機械用 イ、發動筒（入籠ト外衣ト同體ノモノヲ含ム） 同用蓋及吸鑄 ロ、空氣壓搾唧筒筒、同用蓋及吸鑄 ハ、掃除唧筒筒、同用蓋及吸鑄 二、其ノ他指定セラレタル用途	一、内火機械用 イ、發動筒用蓋、入籠及吸鑄 ロ、空氣壓搾唧筒筒、同用蓋及吸鑄 二、其他指定セラレタル用途

備考 特種ノ用途ニ對スル鑄鐵品ニ對シテハ別ニ規格ヲ定ムルコトヲ得。

鑄鐵品規格日本鑄物協會修正案

項 名	修 正 事 項																			
化學試驗 抗張試驗及曲ゲ試驗	全炭素 <3.2 硅素 <1.8 磷 <0.3 硫黃(%) <0.08 抗張試驗ハ第三種、第四種ノ鑄鐵品ニ對シテノミ行ヒ抗折試驗ハ各種鑄鐵品ニ對シテ之ヲ行フモノトス、但シ第一種鑄鐵品ニ對シテハ特ニ指定セラレタルトキニ限り之ヲ行フモノトス。 硬度試驗ハ第四種鑄鐵品中特ニ指定セラレタルモノニ限り之ヲ行フモノトス。																			
抗折試驗片 (曲ゲ試驗片)	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">黒 皮</th> <th colspan="2">仕 上</th> </tr> <tr> <th>第一種 鑄 放</th> <th>第二種 仕 上</th> <th>第三種 鑄 放</th> <th>第四種 仕 上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大 長 支 點 間 距 離</td> <td>30mm 丸 350mm</td> <td>—</td> <td>30mm 角 350mm</td> <td>25mm 角 350mm</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">300mm</td> <td colspan="2">300mm</td> </tr> </tbody> </table>		黒 皮		仕 上		第一種 鑄 放	第二種 仕 上	第三種 鑄 放	第四種 仕 上	大 長 支 點 間 距 離	30mm 丸 350mm	—	30mm 角 350mm	25mm 角 350mm		300mm		300mm	
	黒 皮		仕 上																	
	第一種 鑄 放	第二種 仕 上	第三種 鑄 放	第四種 仕 上																
大 長 支 點 間 距 離	30mm 丸 350mm	—	30mm 角 350mm	25mm 角 350mm																
	300mm		300mm																	
壓縮試驗 合格規定 抗折力及撓量 (曲ゲ係數)	削 除 第一種 >(14) 第二種 >(16)																			
壓縮力	削 除																			
鑄造方法	500kg 以上 { 供試材ハ本體ニ附着シ鑄造スルモノトス、但シ第一種、第二種ノ鑄鐵品ニ對シテハ別個ニ鑄造スルコトヲ得、又第三種、第四種ニ對シテハ註文者又ハ検査員ノ承認ヲ經テ別個ニ鑄造スルコトヲ得。																			
檢 査 (一般的要求)	鑄鐵品ニハ有害ナル疵又ハ巢等ノナキコトヲ要ス尙鑄掛ケノ場合ニハ註文者又ハ検査員ノ承認ヲ受クルヲ要スルモノトス。																			